

# 線形代数学第2 - 中間試験問題 -

情報システム工学科 1 年生

平成 19 年度後期 - 2007.11.28 -

1. 次の問いに答えよ.

- (a) 直線  $y = 3x$  上で, 座標点  $(1, 1)$  への距離が最小となる点の座標を求めよ.
- (b) 平面  $x + 2y - z = 0$  上で, 座標点  $(1, 1, 0)$  への距離が最小となる点の座標を求めよ.

2. 次の行列  $A$  に対して, 以下の問いに答えよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 1 \\ -1 & 1 & 0 \\ 1 & 1 & 2 \\ 0 & -1 & -1 \end{bmatrix}$$

- (a)  $A^T A$  を求めよ. これが, 対称行列となっていることを確かめよ.
- (b)  $A$  と  $A^T A$  の階数  $r$  を求め, これらが等しいことを示せ.
- (c)  $A$  と  $A^T A$  の零空間が等しいことを確かめよ.
- (d)  $A^T A$  の逆行列は存在する / しないのいずれか. 理由も述べよ.
- (e)  $A^T A$  の逆行列が存在する条件を示せ.
- (f) 上記の条件を満たす  $A$  の  $3 \times 2$  行列の例を示し,  $A^T A$  の逆行列を求めよ.

3. 次の連立方程式の最適な最小 2 乗解を以下の問いに従って求めよ.

$$\begin{aligned} u + v &= 1 \\ v - w &= 0 \\ u + w &= 1 \\ -v + w &= -1 \end{aligned}$$

- (a) 上の連立方程式を行列とベクトルを用いて表せ. これを,  $Ax = b$  とする.
- (b) 最小 2 乗解を求める方程式を求めよ. これを  $\hat{A}x = \hat{b}$  とする.
- (c) 式 (b) の一般解を求めよ. これが, 最小 2 乗解である.
- (d)  $\hat{A}$  の零空間を求めよ. 次元と基底を求める.
- (e) 式 (b) の一般解を  $x = x_r + x_n$  としたときの  $x_r$  を求めよ. 但し,  $x_r$  は  $\hat{A}$  の行空間にある成分,  $x_n$  は零空間にある成分である.  $x_r$  が最適な最小 2 乗解である.
- (f)  $x_r$  が式 (b) を満たすことを示せ.
- (g)  $x_r$  が零空間に直交することを示せ.

4. 線形独立なベクトル  $a_1 = [1, -1, 0]^T, a_2 = [1, 0, 1]^T, a_3 = [0, 1, -1]^T$  を互いに直交するベクトル  $v_1, v_2, v_3$  に変換せよ (ベクトルの長さを 1 にする必要はない). さらに, それらが互いに直交することを確認せよ (参考) Gram-Schmidt の直交化法を利用する.

5. 次の行列式を求めよ. 行列の性質 1~10, または行列式の適当な公式を用いて計算する.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 0 & 1 \\ -1 & 0 & -1 & 2 \\ 1 & -1 & 0 & 1 \\ 0 & -1 & 3 & -2 \end{bmatrix} \quad B = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ -1 & 2 & 0 & 0 \\ 4 & -3 & 5 & 0 \\ 6 & -1 & 3 & -1 \end{bmatrix} \quad C = \begin{bmatrix} 1 & -2 & 1 & 1 \\ -1 & 0 & 1 & -1 \\ 2 & -1 & 0 & 1 \\ 1 & 2 & -1 & 0 \end{bmatrix} \quad D = \begin{bmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 3 & 1 & 0 \\ 2 & 5 & 7 & 1 \\ -1 & -2 & -3 & 1 \end{bmatrix}$$

6. 行列  $A$  の逆行列を余因子行列と行列式を用いた次の公式により計算せよ.

$$A^{-1} = \frac{\text{adj } A}{\det A} \quad A = \begin{bmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 0 & -1 & 2 \\ 2 & 0 & -1 \end{bmatrix}$$